

指定管理者制度導入施設の運営状況（令和4年度）

1. 施設名等

施設名	大分県社会福祉介護研修センター	所在地	大分市明野東3丁目4番1号
		電話番号	097-552-6888
		ホームページ	<a href="https://www.okk.or.jp">https://www.okk.or.jp</a>

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	社会福祉法人 大分県社会福祉協議会 大分市大津町2丁目1番41号 令和3年4月1日～令和8年3月31日	県の所管部課 (局・室)	福祉保健部 高齢者福祉課 TEL：097-506-2692
-------	-------------------	---	-----------------	----------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成5年11月12日
設置根拠	大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例
設置目的	社会福祉事業に従事する者に対する研修、介護に関する研修、福祉用具の展示等を行うことにより、社会福祉事業従事者の資質の向上と県民の介護に対する理解と参加の促進を図り、もって県民の福祉の増進に資する。
事業内容	①社会福祉事業従事者を対象とする研修 ②介護に関する研修 ③高齢者及び介護者の総合相談 ④福祉人材に係る無料職業紹介 ⑤福祉機器等の展示及び情報提供 ⑥①～⑤のほか、社会福祉介護研修センターの目的を達するために必要な事業
施設内容	大ホール[200人室]、小ホール[100人室]、研修室、図書情報室、調理実習室、和室実習室、トイレ実習室、ベット実習室、入浴実習室、相談室、休憩室・食堂、福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター（福祉人材無料職業紹介所）、住宅改造モデル展示場、災害物資備蓄倉庫
使用料等	該当なし
閉館日	①月曜日、②国民の祝日（その日が土曜日又は日曜日に当たるときを除く） ③12月29日から翌年の1月3日までの日

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
利用者満足度 評価レベル4.5以上(R元、2) 評価レベル4.6以上(R3～) (5段階評価)	令和元年度	4.5	4.61	102.4%
	令和2年度	4.5	4.60	102.2%
	令和3年度	4.6	4.62	100.4%
	令和4年度	4.6	4.66	101.3%
利用者数 延べ利用者数 50,000人以上	令和元年度	49,000	49,324	100.7%
	令和2年度	49,000	24,790	50.6%
	令和3年度	49,000	24,915	50.8%
	令和4年度	50,000	34,191	68.4%

5. 施設の利用状況

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
	令和元年度	2,225	2,763	3,710	3,948	2,934	4,904	
令和2年度	229	508	2,252	2,887	2,336	2,791		
令和3年度	1,073	1,323	2,162	3,144	2,479	1,569		
令和4年度	1,494	2,178	3,493	2,287	2,660	3,432		
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
令和元年度	7,186	11,007	4,711	2,612	2,910	414	49,324	
令和2年度	3,896	3,315	2,115	1,743	1,478	1,240	24,790	
令和3年度	3,387	3,627	2,662	1,086	1,062	1,341	24,915	
令和4年度	5,300	4,308	1,730	3,462	2,422	1,425	34,191	

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	<p>①全研修会の受講者、②福祉人材センターの来館者、③福祉用具展示場・高齢者総合相談の来館者にアンケートを実施</p> <p>アンケート内容：内容等にかかる5段階評価及び施設・職員対応等に対する意見記入</p> <p>①対象研修数：51 対象者数：16,604名 回答者数：15,470名 回収率：93.2%</p> <p>②対象者数：932名 回答者数：12名 回収率：1.3%</p> <p>③対象者数：628名 回答者数：168名 回収率：26.8%</p>
	実施結果	<p>①研修会のアンケートの評価レベルは、4.66と目標数値を上回った。</p> <p>・最高：4.89 最低：4.26 平均4.66</p> <p>・アンケート調査を分析し、受講者の要望等を次年度以降の研修の企画等に反映させてきた結果テーマ設定、講師選定ともに受講者の評価は高く、平均値は高水準で推移している。</p> <p>・意見についても、研修内容、講師選定、施設の整備・維持、職員の対応等に対し良好な評価を得ている。</p> <p>②福祉人材センター 最高：5.00 最低：5.00 平均5.00</p> <p>③福祉用具展示場・高齢者総合相談 最高：5.00 最低：4.75 平均4.94</p> <p>* 月ごとの評価数値(月平均)の中で最高、最低を記載している。</p>
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
時間帯によって寒いときがあったとの室温に関する苦情(感染防止のための換気の影響もある)		開催要綱で各自調節できる服装での出席を事前に伝えたり、会場で担当者に伝えるよう研修開始時にアナウンスし対応している。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① リハビリ専門職(PT等)の複数配置により、専門的な知識技術の普及啓発体制を強化できている。特に高齢者総合相談業務については、障がいに応じた福祉用具等の相談や試用の増加、土日の専門職員による相談対応を行っている。また、介護教室でも新規に福祉用具教室を開催し、県民の在宅生活・介護の支援を強化している。</p> <p>② 令和4年6月1日、介護ロボット普及推進センターを設置し、介護ロボット・ICT機器等の相談対応、体験展示、試用貸出及び機器導入に向けた助言等を行い、職場の環境改善、業務効率等、介護現場の革新の推進に取り組んだ。</p> <p>③ 福祉用具展示場では、企業の協力により、これまでの最新の用具等の展示に加え、介護ロボット・ICT機器等も充実し、介護現場の職員にとって、ICT化をイメージしやすく、知識の習得や体験ができるようになった。またホームページ上にオンライン展示場を設け、当センターに来所できない方が介護ロボット等や事業所での利活用の状況を見ることを可能とした。また、隣接する住宅改造モデル展示場はWi-Fiを設置して見学者の利便性を高めるとともに、在宅生活をイメージできる機器配置やディスプレイとし在宅介護を支援している。</p> <p>④ すべての研修会の受講者、高齢者総合相談センター・福祉人材センター来所者、またホームページ上でもアンケート調査を実施し、さらに各階には「ご意見承り箱」を設置するなど、幅広く利用者の声を聞いている。利用者の意見・要望は、毎月開催する所内会議で検討し、事案に応じ対応できるものは速やかに実施するとともに、意見等に対する回答書を作成し、月毎にまとめて1階階段横の掲示場所にファイルを備え付けている。</p> <p>⑤ 多くのニーズがある認知症高齢者を地域で支えるための「認知症講座」を継続するとともに、「認知症予防教室」の内容を拡充した。また、介護教室では終活に関する教室を新規で実施し、適宜時勢に沿う内容を検討し開催している。</p> <p>⑥ 求職者の求職活動の参考資料として、「福祉の仕事・資格ガイドブック」を作成・配布した。また福祉人材センター専用ホームページで最新の求人情報、就職フェアや研修会などのイベント情報を発信するとともに、福祉・介護職場の魅力を紹介したDVDを作成し、県内の全中・高校等に活用パンフレットとともに提供した。</p>
イベント等の充実	<p>① 福祉のしごと就職フェア</p> <p>・夏フェア(R4年8月7日)・・・新型コロナ感染拡大防止のため中止(利用者のニーズにより対面での実施を計画した)</p> <p>・春フェア(R5年2月25日)・・・オンラインにより実施</p> <p>参加事業所：30事業所 申込求職者：26名(学生12名、一般14名)</p> <p>事業所へのプレントリー：44件</p> <p>② センターまつり&amp;げんきフェア2022の代替実施</p> <p>・福祉関係者や県民の福祉・介護に対する理解と啓発を図るために実施(令和2、3年度は新型コロナのため中止)</p> <p>・新型コロナ感染防止を踏まえ、当センターに来所せず多くの方が参加できるように、クロスワードを解いてもらう形式で代替実施し、1,690名の応募があった。</p> <p>③ 来場者以外の県民に向け福祉用具や介護ロボット・ICT機器等を普及啓発するため、出前講座やイベント等の機会を活用し、児童から高齢者まで幅広い世代や、普段介護とは接点のない子育て世代の家族等に体験してもらうことにより、介護ロボット等への理解促進を図った。</p> <p>・由布市夏休みBG塾(はさま未来館、R4年8月4日、31名)</p> <p>・OAB大感謝祭 もっとJIMOTTO! 介護ロボットブース (J.COMホルトホール大分前、R4年10月8日～9日、1,080名)</p> <p>・中津市社協 三光児童館わいわいまつり介護ロボット出張展示(三光コミュニティセンター、R4年11月20日、152名)</p> <p>・おおいた人権フェス (大分市竹町ギャラリー、R4年11月27日、177名)</p> <p>・福祉用具協会 福祉機器展2022介護ロボット出張展示(J.COMホルトホール大分内、R4年12月5日、39名)</p>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入額(A)		209,895	197,566	208,608	224,086
内 訳	県からの委託料	153,926	155,266	164,483	166,652
	利用料金(別途委託料)	47,463	37,729	40,002	53,188
	事業収入(大分市等)	204	204	200	204
	自主事業収入(資料代)	8,302	4,367	3,923	4,042
	その他(繰入金)	0	0	0	0
支出額(B)		209,895	197,566	208,608	224,086
内 訳	人件費	103,711	101,152	116,505	120,790
	維持管理費	33,538	31,408	33,051	33,158
	事業費(指定管理)	35,947	35,024	33,145	35,213
	自主事業費(別途委託)	36,699	29,982	25,907	34,925
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	令和元年度							
	令和2年度							
	令和3年度							
	令和4年度							
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和元年度							0
	令和2年度							0
	令和3年度							0
	令和4年度							0

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	所長(嘱託)― 副所長(嘱託)― <ul style="list-style-type: none"> <li>総務・人材部長(兼副所長) 部員 13 (プロパー2 嘱託 11)</li> <li>社会福祉研修部長(兼所長) 部員 6 (プロパー3 嘱託 3)</li> <li>介護実習・普及部長(プロパー) 部員 4 (プロパー1 嘱託 3)</li> <li>高齢者総合相談部長(兼介護実習・普及部長) 部員 4 (嘱託 3 派遣 1)</li> </ul>							
	職員数(R4.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	7	0	22	1	0	0	30	

1.1. 適正な管理運営に係る主な取組内容

<p>職員の資質・能力の向上</p>	<p>① OJTを通じ、職員の能力向上に努めた。</p> <p>② 利用者アンケートの内容を反映した企画や講師との打合せなど、職員の研修企画力向上に努めた。</p> <p>③ 関係機関が開催する専門研修等に積極的に参加し、専門知識やスキルを深めた。</p> <p>(Webによる参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉人材情報システム研修会(Web)</li> <li>・福祉人材センター業務・法令研修会(Web)</li> <li>・職業紹介責任者講習会(オンライン講習会)</li> <li>・九州ブロック福祉人材・社会福祉研修実施機関連絡会議(佐賀市:Web)</li> <li>・多様な就労の促進連絡会議(Web)</li> <li>・令和4年度九州ブロック介護実習・普及センター代表者及び担当者会議(Web)</li> <li>・高齢者疑似体験インストラクター養成研修会(Web)</li> <li>・相談窓口・リビングラボネットワーク連絡会議(ハイブリッド)</li> <li>・全国介護ロボットフォーラム(Web)</li> <li>・生産性向上の取り組みに関する介護事業所向けフォローアップセミナー、実践報告会(Web)</li> <li>・福祉-医療スキルアップ移住推進事業セミナー(Web)</li> </ul> <p>(開催地参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大分県福祉用具総会(大分市)</li> <li>・大分県PT協会創立50周年式典(大分市)</li> <li>・第16回千葉県地域リハビリテーションフォーラム 全国福祉用具相談・研修機関協議会(千葉市)</li> <li>・介護現場における生産性向上推進地域フォーラム大分会場(大分市)</li> <li>・相談窓口・リビングラボネットワーク連絡会議(東京都)</li> <li>・国際福祉機器展2022(東京都)</li> <li>・社会福祉法人スマイリング・パーク視察(都城市)</li> <li>・令和4年度大分県老人福祉施設協議会 介護ロボット・ICT研修会(大分市)</li> <li>・多重債務者対策連絡会議(大分市)</li> <li>・福祉用具専門相談員指定講習会(大分市)</li> <li>・排せつケアフォーラム(福岡県大牟田市)</li> </ul>
<p>防災に関する研修・訓練</p>	<p>① 年度当初、「施設管理マニュアル」「事故等対応マニュアル」「ウイルス感染症マニュアル」の周知徹底を図る職員研修を実施するとともに、平常時からの危機管理意識保持に努めた。</p> <p>② 職員に消防計画を周知し自衛消防隊設置時の各自の任務を確認するとともに、消防訓練(年1回)を実施し、緊急時には全職員が適切に対応できる体制とした。</p> <p>③ 介護研修センターを含む県社協の所属長で構成する部所長会議で災害発生時の行動や災害ボランティアセンター設置・運営について確認するとともに、事業継続計画(BCP)を作成した。</p>
<p>安全対策等</p>	<p>① 危険物の保管箇所については、施設による厳重な管理を行うとともに、防犯・環境美化のため、日常的な館内の見回りを行った。</p> <p>② 危険箇所の早期発見のため、施設や設備等の日常点検を行うとともに、破損や故障箇所等について速やかに修繕を行った。特に実習に使用する備品については、実習前点検も行い、事故の未然防止に努めた。</p> <p>③ エレベーター、自動ドア等の施設設備については、専門業者による定期保守点検を行った。</p>